



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 潤上工業株式会社 上場取引所 東名
コード番号 5918 URL <https://www.takigami.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潤上晶義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 香村哲也 TEL 0569-89-2101
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年3月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	11,142	2.5	212	—	655	—	377	—
2025年3月期中間期	10,869	0.8	△320	—	13	△97.8	△0	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,208百万円 (−%) 2025年3月期中間期 △1,300百万円 (△140.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 182.91	円 銭 —
2025年3月期中間期	△0.30	—

（注）1株当たり当期純利益は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期中間期	百万円 67,416	百万円 46,396	% 68.8	円 銭 22,479.24
2025年3月期	64,177	43,265	67.4	21,005.11

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 46,396百万円 2025年3月期 43,265百万円

（注）1株当たり純資産は、信託口が保有する当社株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めて算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 22,000	% △7.7	百万円 250	% —	百万円 1,000	% 196.5	百万円 550	% 174.7	円 銭 266.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社（社名）－ 除外 一社（社名）－

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： | 無 |
| ④ 修正再表示 | ： | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	2,697,600株	2025年3月期	2,697,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	633,628株	2025年3月期	637,822株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	2,061,201株	2025年3月期中間期	2,198,976株

(注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式（2026年3月期中間期 41,000株、2025年3月期 42,400株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期中間期 41,591株、2025年3月期中間期 42,737株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9
販売実績、受注高及び受注残高(連結)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの連結業績につきましては、完成工事高111億4千万円（前年同期比2.5%増）、営業利益2億1千万円（前年同期は3億2千万円の営業損失）、経常利益6億5千万円（前年同期は1千万円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純利益3億7千万円（前年同期は0百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①鋼構造物製造事業

鋼構造物製造事業におきましては、当中間連結会計期間の総受注高は、橋梁・鉄骨共に厳しい結果となり、39億4千万円（前年同期比54.8%減）となりました。

完成工事高については、当社では新設橋梁・保全工事共に、設計変更の獲得が予定以上の成果を生み、前年同期を上回る結果となりました。一方、鉄骨工事については、新規受注が無く既受注工事の消化のみとなつたため、前年同期に比べ大幅な減少となりました。また、連結子会社では、鉄道関係の大型補修案件の終息等により、橋梁の完成工事高は前年同期と比べ大幅な減少となりました。

損益面は、全般的に原材料や人件費等による原価高の傾向は続いておりますが、新設橋梁や保全工事では、粘り強く設計変更の獲得に努めた結果、収益を大幅に改善する設計変更の獲得が出来ました。また、鉄骨工事は、当社では前連結会計年度に工事損失引当金を計上したため、当中間連結会計期間の損失を緩和することが出来ましたが、鉄骨を主事業とする連結子会社においては、鉄骨プロジェクトの見直し等による受注環境の悪化から、受注高・生産高が共に減少し、大幅な損失を計上する結果となりました。

その結果、完成工事高97億3千万円（前年同期比5.8%増）、営業利益1億3千万円（前年同期は3億7千万円の営業損失）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、昨年6月末に名古屋市内で賃貸を開始した当社賃貸マンションの収益が主な増収要因となり、売上高5億2千万円（前年同期比14.7%増）、営業利益2億7千万円（前年同期比15.8%増）となりました。

③材料販売事業

材料販売事業におきましては、厚板部門は、厚板を取り巻く環境が厳しい中で、当社向け取引は計画通り推移したものの、外販切板取引が減少したことから、前年同期に比べ減収減益となりました。レバーラー部門は、主要取引先の産業車両向け取引が一部回復したため、売上高は増加しましたが、輸送費等の外注費と工場経費の増加により、前年同期に比べ増収減益となりました。また、鉄筋建材部門は、土木資材販売の取引数量は増加しましたが、国内建設需要の減退により、主力商品である鉄筋材料の販売数量が減少したため、前年同期に比べ減収減益となりました。その結果、売上高11億1千万円（前年同期比1.7%減）、営業損失4千万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

④運送事業

運送事業におきましては、グループ内取引は、第2四半期までに予定していた物件の現地工程が遅れ、第3四半期以降に繰り越しとなった事が影響したため前年同期に比べ大幅な減少となりました。一方、外部取引は、前連結会計年度からの繰り越し物件を順調に受注できたことから前年同期に比べ微増となりました。その結果、売上高1億7千万円（前年同期比26.6%減）、営業損失3百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

⑤工作機械製造事業

工作機械製造事業セグメントである㈱ケイシスティックニジューサンは、2025年4月23日に適時開示いたしましたとおり、2025年6月30日をもって解散致しましたので、第1四半期が最終の事業期間となり、当第2四半期は、清算手続きに移行しております。売上高は、自動車用設備と住宅メーカー向け設備の受注残を計上しましたが、営業利益の確保までは至らず、売上高6千万円（前年同期比65.3%減）、営業損失8百万円（前年同期は4千万円の営業損失）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は674億1千万円（前連結会計年度末比5.0%増）となりました。流動資産は、249億8千万円（前連結会計年度末比2.7%減）、固定資産は、424億2千万円（前連結会計年度末比10.2%増）となりました。

負債は210億1千万円（前連結会計年度末比0.5%増）となり、それぞれ、流動負債は112億4千万円（前連結会計年度末比9.1%減）、固定負債は97億7千万円（前連結会計年度末比14.5%増）となりました。

純資産は、463億9千万円（前連結会計年度末比7.2%増）となりました。

この結果、自己資本比率は68.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、前回発表予想（2025年5月15日）公表の通期連結業績予想を第2四半期までの状況など踏まえて、売上高、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を若干修正しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流动資産		
現金預金	6,860	5,588
受取手形・完成工事未収入金等	16,632	17,292
有価証券	5	6
商品及び製品	190	79
未成工事支出金	490	472
材料貯蔵品	800	644
未収入金	332	652
その他	381	254
流动資産合計	25,693	24,989
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産（純額）	8,297	8,214
その他（純額）	8,485	8,287
有形固定資産合計	16,783	16,501
無形固定資産		
ソフトウエア	40	32
その他	24	48
無形固定資産合計	64	81
投資その他の資産		
投資有価証券	21,228	25,269
その他	407	574
投資その他の資産合計	21,635	25,843
固定資産合計	38,483	42,426
資産合計	64,177	67,416
負債の部		
流动負債		
支払手形・工事未払金等	4,457	3,514
未成工事受入金	3,057	2,904
工事損失引当金	552	448
その他の引当金	260	224
未払法人税等	143	224
短期借入金	3,000	3,000
その他	902	930
流动負債合計	12,374	11,247
固定負債		
長期借入金	1,665	1,498
その他の引当金	311	323
退職給付に係る負債	938	939
繰延税金負債	5,246	6,575
その他	375	436
固定負債合計	8,537	9,772
負債合計	20,911	21,019

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	470	470
利益剰余金	34,905	35,177
自己株式	△3,947	△3,920
株主資本合計	32,789	33,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,432	13,268
退職給付に係る調整累計額	43	39
その他の包括利益累計額合計	10,476	13,307
純資産合計	43,265	46,396
負債純資産合計	64,177	67,416

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
完工工事高	10,869	11,142
完工工事原価	10,212	9,935
完工工事総利益	656	1,206
販売費及び一般管理費	977	994
営業利益又は営業損失(△)	△320	212
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	318	418
賃貸収入	17	18
その他	27	41
営業外収益合計	370	483
営業外費用		
支払利息	2	19
投資有価証券評価損	8	–
自己株式の取得に関する付随費用	1	1
賃貸費用	9	8
為替差損	13	5
その他	0	5
営業外費用合計	36	40
経常利益	13	655
特別利益		
固定資産売却益	7	1
投資有価証券売却益	–	40
特別利益合計	7	41
特別損失		
固定資産除却損	3	–
固定資産売却損	–	0
投資有価証券売却損	–	23
会員権評価損	–	4
特別損失合計	3	29
税金等調整前中間純利益	18	667
法人税、住民税及び事業税	115	260
法人税等調整額	△96	30
法人税等合計	18	290
中間純利益又は中間純損失(△)	△0	377
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△0	377

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△0	377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,296	2,835
退職給付に係る調整額	△2	△4
その他の包括利益合計	△1,299	2,831
中間包括利益	△1,300	3,208
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,300	3,208

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	9,205	457	945	61	180	10,850	18	10,869	-	10,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	193	174	-	369	-	369	△369	-
計	9,205	458	1,139	235	180	11,219	18	11,238	△369	10,869
セグメント利益又は損失 (△)	△377	235	△1	7	△48	△183	11	△171	△148	△320

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△369百万円及び「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額44百万円、セグメント間未実現利益の消去額△0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△192百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	9,739	524	720	75	62	11,122	19	11,142	-	11,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	398	98	-	498	-	498	△498	-
計	9,739	525	1,119	173	62	11,620	19	11,640	△498	11,142
セグメント利益又は損失 (△)	139	272	△45	△3	△8	353	12	366	△153	212

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△498百万円及び「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額27百万円、セグメント間未実現利益の消去額1百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△182百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

販売実績、受注高及び受注残高(連結)

(1) 販売実績

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	7,132	65.6	8,103	72.7	16,682	70.0
鉄 骨	2,072	19.1	1,636	14.7	3,997	16.8
小 計	9,205	84.7	9,739	87.4	20,679	86.8
不 動 産	457	4.2	524	4.7	958	4.0
材 料 販 売	945	8.7	720	6.5	1,812	7.6
運 送	61	0.5	75	0.7	116	0.5
工 作 機 械	180	1.7	62	0.5	239	1.0
そ の 他	18	0.2	19	0.2	33	0.1
合 計	10,869	100.0	11,142	100.0	23,840	100.0

(2) 受注高

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	5,997	68.7	3,282	83.2	19,628	81.6
鉄 骨	2,737	31.3	663	16.8	4,423	18.4
合 計	8,735	100.0	3,946	100.0	24,051	100.0

(3) 受注残高

区分	前中間連結会計期間末 (2024年9月30日)		当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)		前連結会計年度末 (2025年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	30,627	88.0	29,888	92.5	34,708	89.8
鉄 骨	4,185	12.0	2,439	7.5	3,946	10.2
合 計	34,813	100.0	32,327	100.0	38,655	100.0